

第230回

# 柏崎しんきん地区内経済指標

(平成27年5月)

 柏崎しんきん

(平成8年4月 創刊)

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,510	0.05	0.01	4,206	1.91	0.14
東部地区	14,264	0.57	0.02	5,807	1.32	-0.01
西部地区	10,321	-0.63	-0.10	4,045	0.64	-0.09
駅南地区	6,335	-0.37	0.06	2,839	1.10	0.28
半田地区	3,713	0.29	0.24	1,415	0.92	0.35
横山地区	5,464	-1.88	-0.20	1,955	-0.15	-0.25
茨目・田尻地区	7,125	1.45	0.22	2,565	3.05	0.47
荒浜地区	4,884	-2.33	0.00	2,003	-0.64	0.25
その他地区	18,802	-2.64	-0.19	7,058	-0.92	0.07
西山町地区	5,849	-1.56	-0.25	2,116	-0.61	-0.14
高柳町地区	1,604	-3.54	-0.24	768	-2.53	-0.38
柏崎市計	87,871	-0.87	-0.04	34,777	0.53	0.07
刈羽村	4,770	-0.68	0.12	1,570	-0.38	-0.06
小国地区（長岡市）	5,708	-2.19	-0.07	2,109	-0.04	-0.23
出雲崎町	4,695	-2.41	-0.06	1,760	-0.45	0.05
合計	103,044	-1.00	-0.04	40,216	0.42	0.04

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比においては、柏崎市で774人・0.87%、刈羽村で33人・0.68%、小国地区（長岡市）で128人・2.19%、出雲崎町で116人・2.41%と減少したことから、全体では1,051人・1.00%の減少となる。前月比では、刈羽村で6人・0.12%増加したものの、柏崎市で43人・0.04%、小国地区で4人・0.07%、出雲崎町で3人・0.06%減少したことから、全体では44人・0.04%の減少となる。

世帯数は、前年同月比で、柏崎市で186世帯・0.53%増加しているが、刈羽村で6世帯・0.38%、小国地区で1世帯・0.04%、出雲崎町で8世帯・0.45%減少したことから、全体では171世帯・0.42%の増加となった。また、前月比では、柏崎市で25世帯・0.07%、出雲崎町で1世帯・0.05%増加したものの、刈羽村で1世帯・0.06%、小国地区で5世帯・0.23%減少したことにより、全体では20世帯・0.04%の増加となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,637		-3.93		-4.65	
月間有効求職者	1,571		-15.67		-5.36	
月間有効求人倍率	1.04	1.23	0.13*	0.03*	0.01*	0.04*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,637人と前年同月比で67人・3.93%減少している。また、前月比においても80人・4.65%減少している。

月間有効求職者数も同様に、1,571人と前年同月比で292人・15.67%減少しており、前月比も89人・5.36%減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.04倍と前年同月比で0.13ポイント上回っており、前月比でも0.01ポイント上回っている。なお、県平均1.23倍と比べると0.19ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が593人と前年同月比で66人・10.0ポイント減少、月間新規求職者数が407人と前年同月比で58人・12.5ポイント低下した結果、月間新規求人倍率は1.46倍となり、前年同月の1.42倍に比べて0.04ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当月の申請			平成27年度累計	
	件数	前年同月比	前月比	件数	前年同月比
一般住宅（併用）	42	14	19	65	13
共同住宅	1	1	0	2	2
事務所	2	1	-1	5	4
作業所・工場	0	0	-2	2	1
営業建物	0	-2	0	0	-3
公共建物	0	0	0	0	0
その他	18	0	5	31	0
合計	63	14	21	105	17

（資料出所：柏崎市建築住宅課）

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が63件と前年同月比で14件の増加となる。工種別内訳の増減は、一般住宅で14件、共同住宅・事務所で各1件増加し、営業建物で2件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が53件となっており、また一般住宅(併用)42件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が14件(新築12件・増改築各1件)、市外施工業者が28件(新築24件・増築1件・改築3件)となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契約口数			使用量		
	口数	前年同月比	前月比	使用量	前年同月比	前月比
電灯	66,463	0.98	0.10	16,343	-9.73	-22.09
電力	9,561	-2.63	0.12	34,642	-1.11	-5.89

（資料出所：東北電力(株)柏崎営業所）

〔電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。〕

契約口数は、電灯が前年同月比で647口・0.98%増加し、前月比でも71口・0.10%増加した。電力においては、前年同月比で259口・2.63%と減少したものの、前月比では12件・0.12%増加した。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,763kwh・9.73%と減少し、前月比でも4,634kwh・22.09%の減少となっている。電力においても同様に、前年同月比で389kwh・1.11%減少し、前月比においても2,172kwh・5.89%の減少となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガス供給量			水道給水量		
	供給量	前年同月比	前月比	給水量	前年同月比	前月比
家庭用	1,103,831	-4.80	-22.58	690,534	-1.89	-1.99
営業用	170,033	3.73	-28.62	119,448	1.20	-3.53
工業用	644,512	2.18	3.68	92,923	-5.98	-10.09
官公学校用	193,078	-8.01	-46.80	69,632	-3.86	-0.86
その他				12	-95.23	-70.00
合計	2,111,454	-2.42	-20.28	972,549	-2.10	-2.94

（資料出所：柏崎市ガス水道局）

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比52,581m<sup>3</sup>・2.42%の減少。前月比でも537,257m<sup>3</sup>・20.28%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用・工業用が増加し、前月比では工業用のみ増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比20,886m<sup>3</sup>・2.10%の減少。前月比でも29,522m<sup>3</sup>・2.94%の減少となっている。用途別内訳は、前年同月比では営業用のみ増加し、前月比では全ての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	85,103	-3.67	7.51	87,877	-3.34	7.63
西 山	40,897	0.29	12.38	38,088	1.12	15.00
米 山	23,151	6.95	18.32	21,551	4.55	25.32
合 計	149,151	-1.07	10.39	147,516	-1.12	11.78

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比1,622台・1.07%と減少したものの、前月比では14,044台・10.39%の増加となっている。

出口においても同様に、全体で前年同月比1,677台・1.12%と減少したものの、前月比では15,555台・11.78%の増加となっている。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、入口・出口共に前年同月比では柏崎インターのみ減少し、前月比では全てのインターで増加している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
5 月 末	392,266	3.96	1.17	147,787	3.31	1.81
5 月 平 均	389,493	2.72	0.70	145,400	2.83	-0.22

預金は、5月末残高が前年同月比14,957百万円・3.96%の増加。前月比においても、4,538百万円・1.17%の増加となっている。平均残高では、前年同月比10,320百万円・2.72%の増加。前月比においても、2,727百万円・0.70%の増加となっている。

一方、貸出金は、5月末残高が前年同月比4,739百万円・3.31%増加し、前月比においても2,631百万円・1.81%の増加となっている。平均残高においては、前年同月比4,008百万円・2.83%増加したものの、前月比では327百万円・0.22%の減少となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	18,367	-11.31	-18.20
交 換 金 額	12,870	-10.72	-36.01
不 渡 り 手 形 枚 数	7	600.00	-36.36
不 渡 り 手 形 金 額	1	0.00	-49.62

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,343枚・11.31%と減少。前月比においても、4,088枚・18.20%と減少している。また、交換金額においても同様に、前年同月比1,546百万円・10.72%と減少し、前月比でも7,244百万円・36.01%と減少している。なお、不渡手形は7件・1百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、5件(前年同月3件・前月7件)、負債総額12億円(同4.4億円・同6億円)となっている。地区別では下越地区で3件(新潟市2件、新発田市1件)、中越地区で2件(三条市・長岡市各1件)発生している。業種別では建設業で2件、製造業・卸売業・小売業で各1件ずつ発生しており、倒産原因の状況は販売不振4件・経営計画失敗1件となっている。

2015年に入って5ヶ月が経過したが、昨年同様、倒産件数が抑制されている状況といえる。しかし、各種コスト上昇、消費マインドの低下、円安の継続による仕入れ価格の高騰など、足元の倒産増加懸念が払拭されたわけではない。県内経済は依然として一部に弱い動きが続いていることから、今後の県内経済動向に注意する必要がある。